

令和6年度 事業報告

令和6年度の熊野市シルバー人材センター事業運営につきましては、自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、会員自らが「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり、元気に活動し、地域社会に貢献するセンター運営を目指して、会員と役職員が一丸となってこの1年間活動を進めてまいりました。

組織運営では、定時総会については、通常通りに開催することができました。また、理事会についても、予定どおりに開催することができました。

会員の拡大については、定年延長、再雇用制度などの拡充により新しい会員を増やすことが難しい状況になってきている中、「一人一会員入会運動」の推進や入会相談日の開設、シルバーだよりや広報くまの等の媒体を通じて入会促進に取り組みましたが、会員の拡大にはつながりませんでした。

就業機会の開拓と提供については、未就業会員の就業促進、一会員一仕事の紹介運動に取り組みましたが、繁忙期に草刈り、剪定作業等に従事する会員が少なく、また猛暑により会員が体調を崩すなどして、個人、民間事業所、官公庁等からのすべての受注に対応することができず、受注件数、契約金額の減少となってしまい就業の拡大につなげることができませんでした。

安全・適正就業については、「安全はすべてに優先する」ことを基本に据え、会員の就業時及び就業途上の事故防止や熱中症予防など健康意識の高揚と周知徹底に取り組みました。本年度は、剪定作業中に大きな石に躓き転倒し、左ひじを強打する傷害事故が1件、草刈り作業中に水道管の破損と飛び石により軽トラックの窓を破損する賠償事故が2件発生しました。

適正就業では、国の適正就業ガイドラインを遵守するとともに、「適正就業基準に関する要綱」に基づき会員に対し安全で公平な就業の機会の提供に努めました。

センターの財務運営では限られた財源の中で、事務の効率化と経費の節減等を徹底し、健全なセンター運営に努めました。

令和6年度に実施した主な事業と概要は、次のとおりです。

1 組織体制の強化

(1) 理事会の開催

センター事業運営の中核である理事会（理事6名、監事2名）を開催し、情報の収集や現状把握の上に立った方針の決定や計画立案等の討議を重ね、業務遂行に努めました。

	開催日	協 議 内 容
第1回理事会	4月25日	① 令和5年度事業報告の承認について ② 令和5年度収支決算の承認について 監査報告 ③ 令和6年度定時総会の招集（案）の承認について
第2回理事会	5月25日	① 代表理事の選定について ② 常務理事の選定について
第3回理事会	9月26日	① 報告事項 ② 職員給与規程の改正（案）について ③ 令和6年度第1次収支補正予算（案）について ④ 利用料金の改定について ⑤ 令和6年度「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」による「シルバーの日」のボランティア活動及び普及啓発活動の実施について ⑥ 特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律（フリーランス法）への対応について
第4回理事会	3月21日	① 報告事項 ② 令和6年度第2次収支補正予算（案）について ③ 令和7年度事業計画（案）について ④ 令和7年度収支予算（案）について ⑤ 役員賠償責任保険の加入について

(2) 定時総会の開催

定時総会は、一人でも多くの会員に参加していただき、センター事業運営について情報共有し、会員の意思が反映できる唯一の機会であります。自粛要請もないことから来賓を招き通常通りの開催案内をし、会員 27 名の出席があり、委任状提出は 45 名でした。

開催日	場 所	内 容
5 月 25 日	熊野市林業会館	議 事 ① 令和 5 年度事業報告の承認について ② 令和 5 年度収支決算報告の承認について 監査報告 ③ 役員選任について 報告事項 ① 令和 5 年度収支補正予算について ② 令和 6 年度事業計画について ③ 令和 6 年度収支予算について

(3) 諸会議・研修会等

諸会議、研修会等については、パソコンを使用したリモートシステム（Zoom）により参加をしました。

月 日	内 容	備 考
5 月 17 日	第 1 回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
6 月 18 日	県シ連令和 6 年度定時総会	津市 （欠席） 県総合文化センター
6 月 26 日	第 2 回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
8 月 19 日	令和 6 年度第 1 回シルバー事業情報交換 会議 （オンライン）	熊野市 SC 事務所
8 月 20 日	令和 6 年度会員拡大・就業開拓担当者会議 （オンライン）	熊野市 SC 事務所
9 月 11 日	令和 6 年度安全・適正就業パトロール（大 紀町）	大紀町役場錦支所
10 月 3 日	令和 6 年度安全・適正就業パトロール（熊 野市）	熊野市 SC 事務所
10 月 8 日	会報（シルバーみえ）編集委員会（Zoom 会 議）	熊野市 SC 事務所
10 月 10 日	経理事務担当者会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所

10月30日	第3回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
11月12・ 14日	新任事務局長研修（オンライン）	熊野市 SC 事務所
11月21日	令和6年度理事長研修会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
12月5日	令和6年度第2回シルバー事業情報交換 会議（オンライン）	熊野市 SC 事務所
2月10日	第4回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
2月18日	安全就業指導員会議（オンライン）	熊野市 SC 事務所
3月4日	第5回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所

2 会員の拡大

- (1) 熊野市の総人口（令和7年2月末現在）は、14,886人（男性 6,906人、女性7,980人）で、その内、60歳以上の人口は、7,756人（男性3,328人、女性4,428人）、人口に占める割合は約52.10%となっていますが、会員数の割合はわずか約1.22%の状況です。
- (2) 会員数（令和7年3月末現在）は95名で、年度内に加入した会員は11名、退会及び資格喪失による会員は16名で5名の減になりました。
- 入会した11名の会員の理由につきましては、生きがい・社会参加5名、経済的理由2名、時間的余裕2名、健康維持が2名でした。
- また、退会及び資格喪失会員16名の理由につきましては、病気等の健康上の理由6名、その他で就業2名、加齢1名、家庭の事情1名、死亡1名、その他5名でした。
- (3) 会員構成では、70歳以上74歳以下は30.5%で最も多く、続いて75歳以上79歳以下は27.4%、65歳以上69歳以下は25.3%の順となっています。特に、70歳以上の会員は全体で70.5%を占めており、会員の高齢化が進んでいます。
- (4) 会員の平均年齢では男性72.8歳、女性72.9歳、全体で72.8歳となっています。これは前年度と比較して男性では0.1ポイント、女性では0.3ポイント下降しましたが、全体では変わりありません。
- 最高年齢の会員は男性で87歳、女性84歳となっています。
- (5) 「一人一会員入会」運動の推進や入会相談を事務所において随時行ってまいりました。
- また、三重県シルバー人材センター連合会による会員募集の広報活動や広報くまの等への会員の募集についての広報をしたことにより、電話による問い合わせなどがあり、

新規の入会につなげることができました。

<会員数>

性別 \ 期間	年度当初	動 向		6 年度末日	増 減
		入会	退会		
男	76	7	13	70	△6
女	24	4	3	25	1
計	100	11	16	95	△5

<会員構成>

性別 \ 区分	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 歳 以上	計	比率 (%)
男	3	16	25	17	9	70	73.7
女	1	8	4	9	3	25	26.3
計	4	24	29	26	12	95	100
比率 (%)	4.2	25.3	30.5	27.4	12.6	100	—

3 就業機会の開拓と提供

- (1) 令和 6 年度の全体の契約件数は、8 4 3 件で前年度より 4 1 件少なく、受注契約金額についても民間（個人、事業所）等からの受注件数が減ったことにより昨年度と比較して 6 6 7, 9 0 4 円減少しました。主な要因は、草刈り、草抜き、剪定等の作業を請け負う会員が不足していたことにより契約件数が伸びなかったことによるものです。
- (2) 就業機会の提供の指標となる就業率は 8 4. 2 % で、前年度より 9. 2 ポイント上回りました。未就業会員に対しては電話等で仕事の照会も行うなど、できるだけ未就業会員の減少に努めました。

○令和 6 年度請負契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額（単位：円）		
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	合 計
4	64	49	364	581,149	1,257,312	1,838,461
5	76	61	458	898,603	1,679,902	2,578,505
6	94	68	497	1,010,675	1,836,672	2,847,347
7	115	72	640	1,542,853	2,225,666	3,768,519
8	61	72	435	907,941	1,453,847	2,361,788
9	81	75	496	879,076	1,915,475	2,794,551
10	75	77	480	1,120,694	1,636,209	2,756,903

11	99	79	519	1,041,563	2,039,963	3,081,526
12	100	80	493	774,965	2,073,240	2,848,205
1	31	80	373	1059316	1,207,441	2,266,757
2	25	80	324	797,853	1,110,094	1,907,947
3	22	80	313	624925	915881	1540806
合計	843 (884)	—	5,392 (5,595)	11,239,613 (10,743,242)	19,351,702 (20,515,977)	30,591,315 (31,259,219)
差	△41	—	△203	496,371	△1,164,275	△667,904

(注) ① 表中()内は前年度実績

② 公共：民間＝36.7：63.3 (%)

4 安全・適正就業の推進と徹底

- (1) 安全就業については事故ゼロを目指して会員の安全意識を高めていただくためにシルバーだより、チラシ等により周知を行い、センターが受注した請負業務については会員一人一人が安全に就業していただけるように心掛けて取り組んでまいりました。
- (2) 作業中による事故の発生件数については、重篤事故の発生はありませんでしたが、剪定作業中に転倒して肘を強打した傷害事故1件、草刈り作業中に水道管破損と飛び石による車の窓ガラス破損の賠償事故2件が発生しました。事故を未然に防ぐことができたケースもあり、会員への一層の周知徹底が必要です。

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
平成25年度	2	6	8
26年度	4	4	8
27年度	1	2	3
28年度	3	2	5
29年度	3	1	4
30年度	2	2	4
令和元年度	2	0	2
2年度	1	1	2
3年度	4	0	4
4年度	2	5	7
5年度	2	2	4
6年度	1	2	3

- (3) 安全・適正就業委員会を開催し、事故発生状況を説明しながら防止策等について議論を行いました。
- (4) 適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、一人の会員に仕事が偏らないようにワークシェアリングを推進して、会員の希望に応じてできるだけ平等に仕事を振り分けるよう取り組みました。

5 普及啓発活動

(1) シルバー人材センター事業普及・啓発活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」における「シルバーの日」のボランティア活動については、シルバー人材センター事業を広く市民にアピールし、事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流の輪を広げることを目的に、10月26日土曜日に山崎運動公園において草刈り・剪定・草抜き等の奉仕作業を行い20名の参加がありました。

市内全域への啓発活動として「広報くまの」への記事の掲載やポスターの掲示等の普及啓発活動を行いました。

(2) 「熊野シルバーだより」の発行

会員の皆様に読み親しまれる広報紙として、年2回（7月・10月）発行しました。引き続き、より充実した内容の「熊野シルバーだより」の発行を目指してまいります。